

平成20年度 第7回 真田地域協議会 会議次第

平成20年10月17日(金) 午後7時

真田地域自治センター 301会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 真田地域自治センター長あいさつ

4 会議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業の選考に係る意見書に対する回答について

(2) 上田市地域振興事業基金の活用方針について

(3) その他

5 その他

6 閉 会

20 真地振第 27 - 4 号

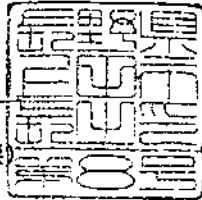
平成 20 年 9 月 26 日

真田地域協議会

会長 清水 潤 様

上田市長 母袋 創

(真田地域自治センター 地域振興課)



回 答 書

平成 20 年 9 月 26 日付け 貴地域協議会から提出のあった意見書について、
下記のとおり回答します。

記

- 1 件 名 「わがまち魅力アップ応援事業」について
- 2 回答内容 別紙のとおり

回答内容

真田地域協議会におかれましては、依頼しました「わがまち魅力アップ応援事業」の選考について、熱心に御協議いただき、該当地域の選考申込事業に係る御意見をおまとめいただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

御協議いただきました、真田地域に係る「平成20年度 わがまち魅力アップ応援事業」については、貴地域協議会から提出いただきました御意見を尊重し、下記のとおり補助金を交付する事業を決定いたします。

記

平成20年度 わがまち魅力アップ応援事業 採択事業 [真田地域協議会 追加募集分]

1. 個性あるふるさとづくり応援事業 : 採択事業 1件

- (1) 申請者 傍陽中組自治会 代表：傍陽中組自治会長 山崎 正寛
- (2) 事業名 自然と文化の地域資源を活かした、活気あふれる集落づくり事業
- (3) 補助金額 300,000 円

2. 特色あるまちづくり応援事業 : 採択事業 2件

- (1) 申請者 滝と森林浴の遊歩道整備委員会 代表：下条 利一
 - (2) 事業名 滝と森林浴の遊歩道整備事業
 - (3) 補助金額 350,000 円
-
- (1) 申請者 菅平高原スキークラブ 代表：竹村 幸則
 - (2) 事業名 アルプスを眺めながら のんびりクロスカントリー
 - (3) 補助金額 500,000 円

上田市地域振興事業基金の活用方針

(総則)

第1 上田市積立基金条例(平成18年3月6日条例第号)に定める上田市地域振興事業基金のうち、それぞれ合併前の市町村(以下、地域という。)において造成した基金(以下、持寄分基金という。)及び合併後、平成18年度及び平成19年度において合併特例債により造成した基金(以下、新市造成分基金という。)の活用等については、この方針に定めるところによる。

(基金の管理)

第2 基金の管理は、次のとおりとする。

- 1 持寄分基金の管理は、まちづくり協働課で行うものとし、地域ごとに基金残高を随時管理するものとする。
- 2 新市造成分基金の管理は、まちづくり協働課で行うものとする。

(基金の運用)

第3 基金の運用は、次のとおりとする。

- 1 持寄分基金、及び新市造成分基金の運用は、まちづくり協働課で行うものとする。
- 2 持寄分基金の運用に伴う利子収入及び運用差益については、運用金額により各地域ごとに仕分けするものとする。

(基金の活用)

第4 基金の活用は、次のとおりとする。

- 1 持寄分基金の活用については、基金の運用に伴う利子収入、運用差益及び基金の取り崩し金をもって、各地域におけるソフト事業及びハード事業の予算の財源に充当できるものとする。
- 2 新市造成分基金の活用については、基金の運用に伴う利子収入をもって、ソフト事業の予算の財源に充当できるものとする。また、当分の間、基金の取り崩しはしないものとする。

(基金の活用による該当事業等)

第5 基金の活用による該当事業等は、次のとおりとする。

- 1 持寄分基金については、合併前の地域の実情に鑑み、各地域の振興事業や地域内分権の推進に関する事業予算の財源に充当できるものとする。
- 2 新市造成分基金については、下記の事業予算の財源に充当できるものとする。
 - (1) 新市の一体感の醸成に資するための事業等

- ア 各種イベント開催事業
 - イ 新市C I事業（コーポレート・アイデンティティ）
 - ウ 新しい文化の創造に関する事業
 - エ その他一体感の醸成に資するための事業
- (2) 地域の特色ある地域振興に関する事業等
- ア 地域行事の発展事業
 - イ 伝統文化の継承事業
 - ウ 地域活性化事業
 - エ 住民の主体的な参加・協働により実施する助成事業
 - オ その他地域の特色ある地域振興に関する事業
- (3) 地域内分権の推進に関する事業
- (4) その他必要と認められる事業

この方針は、平成19年11月1日から施行する。

上田市地域振興事業基金の活用方針に基づく基金活用基準

上田市地域振興事業基金の活用方針（以下「活用方針」という。）に基づき、基金を活用し、事業予算に要する財源として充当することができる具体的事業等については、この基準によるものとする。

1 基金の活用に関する基本的考え方

基金を活用しようとするときは、上田市地域振興事業基金以外の特定目的基金の造成目的に該当する事業がある場合は、これを優先しなければならない。

2 基金の活用に関する該当事業等

- (1) 活用方針第5の1に定める持寄分基金（発生利子等を含む。）を活用する場合は、原則として、別表に示す事業予算などに要する財源として、充当することができるものとする。
- (2) 活用方針第5の2に定める新市造成分基金を活用する場合は、原則として、新規事業予算に要する財源として、充当することができるものとする。

この基準は、平成19年11月1日から施行する。

別 表

持寄分基金活用事業

	基金の活用に関する該当事業等
1	合併により制度の統一等により、補助率、限度額等が低下する事業に対し、その影響を緩和する措置として、必要と思われる事業
2	地域協議会の発案に基づく特色ある事業 (例) 〔 総合計画「地域まちづくり方針」に基づく住民と住民、住民と行政との協働による事業(地域協議会からの意見書の提出によるもの) 〕
3	地域独自のイベント事業 (1) 市民まつり事業の記念的事業 (2) 地域イベント事業の発展的事業
4	コミュニティの活性化に資する事業 (例) 住民協働による事業など
5	地域資源を利活用した事業
6	地域課題に対応する事業
7	わがまち魅力アップ応援事業

平成20年度当初予算における地域予算の概要

単位:千円

事業名	地域	地域予算額	財源	備考	
地域振興対応事業	丸子	1,250	一般財源	目)地域振興対策費 事業)地域振興対策事業費 08 報償費 09 旅費 13 委託料	1,250
	真田				
	武石				
わがまち魅力アップ応援事業補助金	-	40,000	基金果実	目)諸費 事業)市民活動支援事業費 19 負担金、補助及び交付金 全市枠5,700 地域枠34,300	43,800
	真田	3,800	基金 (真田地域分)	目)諸費 事業)市民活動支援事業費 19 負担金、補助及び交付金 【真田地域上乘せ分】	
各種イベント活性化事業	武石	2,900	基金 (武石地域分)	目)諸費 事業)市民活動支援事業費 11 需用費 18 備品購入費	78,849
防犯灯電気料金補助金	丸子	2,800	基金 (丸子地域分)	目)諸費 事業)防犯対策事業費 19 負担金、補助及び交付金	
武石温泉施設利用補助事業	武石	8,950	基金 (武石地域分)	目)観光費 事業)観光宣伝事業費 19 負担金、補助及び交付金	
武石児童館整備事業	武石	22,000	基金 (武石地域分)	目)児童館費 事業)児童館整備事業費 15 工事請負費	
真田の郷・菅平高原 PR用パンフレット・ポスター作成事業	真田	4,000	基金 (真田地域分)	目)観光費 事業)観光宣伝事業費 11 需用費 ・ 13 委託料	
番所ヶ原スキー場リフト券補助	武石	981	基金 (武石地域分)	目)諸費 事業)市民活動支援事業 19 負担金、補助及び交付金	
小計		86,681			

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
菅平	・国道406号グリーンフィールドからホテルルピナスまでは、見通しが悪く事故等の危険もあるので、堆雪帯を設置して頂きたい。（水路も含む）その区間と併せて、羽根尾までの堆雪帯設置をお願いしたい。
菅平	・菅平大橋の歩道設置と橋梁両端への公園設置及び、歓迎塔の整備。
菅平	・国道406号のホテルやまびことホテルニューダボスの間の橋の拡張工事をお願いします。この橋が狭いため、冬期は事故が多く、非常に危険な箇所となっております。
菅平	・県道傍陽菅平線（電通1号線）の拡幅改良、県道菅平高原線の白樺橋の拡幅工事を要望します。
菅平	・県道長野菅平線、「菅平」信号～菅平小中学校前までの歩道の拡幅整備。
菅平	・県道34号（長野菅平線）を野口みずき選手等の世界的な選手が走っていますが、歩道が無く安全面で不安です。U字溝を自由勾配側溝に敷設替えをして、道路拡幅により歩道の確保をお願いします。
菅平	・国道406号サンホテル前～ロッヂすすもとまで歩道の設置。 1年を通じて歩行者（学童の通学も含め）の多い道路であるが、路肩も狭く、自動車の通行量も多く、歩行者の逃げ場がないため非常に危険な道路である。歩道の設置については、国道に隣接した市所有地への歩道設置についても併せて検討願いたい。
菅平	・通学路の歩道設置。（5区間） 菅平郵便局～羽根尾交差点 ホテル白樺荘～ダボスタカシマヤ付近 菅平高原温泉ホテル～西組旧消防庫付近 菅平高原温泉ホテル～向組旧消防庫付近 菅平高原自然館前～峯村貸スキー店付近 冬期間の歩道除雪も併せてお願いします。
菅平	・大川付近の河川（U字溝）について雨が降ると土砂で埋まってしまう。上流域へ砂防ダム建設等による水害対策を考えて欲しい。
菅平	・洗馬川上流の開発等で、予想される河川氾濫に対するイナリールホテル横の河川改修。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
菅平	・教職員住宅の新築。 教職員住宅に老朽化している施設が多くあります。一昨年度から、修理をして頂いており感謝いたします。引き続き、修理を継続すると共に、将来へ向けて「教職員住宅（集合住宅）」を新築して頂くようお願いします。
菅平	・屋外プールに避寒用透明屋根の設置。 水泳授業が支障なく行えるよう寒冷地菅平高原の学校プールに避寒用透明ドームの設置をお願いします。できれば、プールの新設とあわせて設置して頂きたい。
菅平	・菅平小中学校の本校舎全面改修。 昭和54年建設以来四半世紀にわたってたいせつに使用されてきましたが、校舎内外にわたって傷みがひどくなってきました。手遅れにならないうちに改修をお願いします。
菅平	・スキーを活用した教育の推進。菅平という地域特性を生かし、スキーを校技とすることにご理解とご協力をお願いします。
菅平	・クロスカントリースキーコースの常設化で地元小中学生の競技力向上とクロスカントリースキーを愛好する選手、スキークラブの合宿、大会等に活用できるように水の確保、電源、ポンプの設置をお願いしたい。
菅平	・菅平高原自然館の建て直しを今のリゾートセンター改築・増築も考慮に入れ、取り組んで頂きたい。
菅平	・サニアパークグラウンドの一部人工芝化。
菅平	・サイズ・色等に統一性を持つ案内看板の増設・補修及び看板上にインバウンドを考慮し多国語表記をお願いしたい。
菅平	・高原内数カ所に24時間対応の観光地らしい公衆トイレを作ってほしい。（センター周辺・西組・向組・自然館周辺等）
菅平	・菅平区内のポイントにスキーゲレンデ誘導標識の設置をお願いします。（羽根尾、四阿屋付近、ベルニナ付近等へ）。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
菅平	・菅平高原緑地広場をスキー場付帯施設として、また、夏のランニングトレーニングなどのスポーツ合宿の拠点として活用できるように次の施設整備をお願いしたい。（トイレ・更衣室の整備。また、休憩室を含む多目的施設の建設）
菅平	・国道406号沿いニューダボス前～シュナイダーリフト乗り場付近の市有地に散策コース（歩道）の新設をお願いします。尚、できない場合は9 - 1支部として整備をしたいと思っておりますので、使用許可をお願いします。国道の土手沿いに支部で桜を植えていきたい。毎年少しずつ増やしていく予定です。
菅平	・高校通学費用の助成：月3万円以上かかる高校通学費用の助成を継続して頂きたい。
菅平	・一昨年あたりから深刻になってきている医師不足により今までの医療態勢が崩れかけていますので、シーズン中のような医療態勢の充実を図って頂きたく存じます。
菅平	・自然館移築に伴う附帯施設の早期実現。
菅平	・昨今の犯罪傾向の多様化した社会情勢を考えますと、昨年よりお盆及び、年末年始の警察官駐在がなくなりましたが、多くの方が訪れるこの時期には前のように菅平の駐在所を開所して頂きたい。
菅平	・農地開発を進めていただきたい。農業後継者のための新しい農地の拡大をお願いします。
菅平	・テレビの地上デジタル化により菅平地区内での視聴がますます困難になってきますので、ケーブルテレビの開通または、サテライト局の新設をお願いします。
大日向	・国道144号線は、上田市内より信号『横沢』付近まで歩道があり整備されていますが、それより先は歩道がなく整備が遅れています。又湯の平橋は急カーブで事故が発生しておりますので、信号『横沢』付近～大日向入口(旧道との交差点)まで直線的に歩道付で整備してほしい。
大日向	・国道144号線の満木建設工業(株)倉庫～不動尊の間は、カーブで見通しが悪いため歩行者が危険である。歩道の整備をしてほしい。又、雨が降ると側溝がすぐに詰まり道路に水溜まりが出来るので道路排水の整備をしてほしい。
大日向	・国道144号線の下渋沢バス停留所から上田側300mは、カーブが3箇所連続しており事故もあることから直線になるよう整備してほしい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
大日向	・国道144号線の土合橋が急カーブであり、橋中央に陥没修繕等があり老朽化しているので、直線になるよう整備してほしい。
大日向	・国道144号線、宮浦のバス停の拡幅（待避所）を行い、新たにバス停を設置していただくよう、引き続きお願いします。
大日向	・国道144号線の渋沢温泉から集落のはずれまでの間で、主にスピードの出し過ぎによる大型トラックの事故が多発しています。標識や路面の凸凹を設置するなどの事故防止対策を要望します。
大日向	・和熊橋下流の護岸工事・中島橋上流左岸護岸に石抜け箇所の補強・初ノ沢地籍の左岸の道路崩落への対応をお願いします。
大日向	・神川、堆積土の撤去をお願いしたい。
大日向	・畑を中心に、イノシシ、サル、カモシカの被害が年々ひどくなっています。電牧柵なども使っていますが、畑以外の道路や法面・石垣でも特にイノシシの掘り起こしによる被害が目立ちます。オリを使うなどの駆除をお願いします。
横沢	・国道144号線、大和商工へ右折する車両と後続車との接触事故や、接触しそうな危険状況が多発しています。注意看板、右折レーンの設置、追越の取締り等対応をお願いします。
横沢	・自然遊歩道浅間高原ルート（角間峠から旧鹿沢）について、復旧が遅れています。順次復旧をお願いします。
横沢	・イノシシ等による田畑への被害について、対応策及び援助制度の充実をお願いします。
横沢	・里山整備事業について、森林税を納入しても真田地域ではどのように活用されていくのか不明です。真田地域で里山として対象となる箇所等、分かり易いマップ等により周知をお願いします。
真田	・主要地方道真田東部線の排水路（木島国興宅裏）の水が、豪雨時にあふれ耕作地に流れ込むので、建設事務所に水路改修を依頼してほしい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
十林寺	・真田氏本城跡へ観光客が増加するなか、県道真田・東部線との交差点付近は、段差が著しいうえに、幅員が狭く、車両の通行やすれ違いに難儀していることから、早期の拡幅改良を要望します。また、真田氏本城跡は市の重要な観光資源であることから、大型バス等でも容易に訪れることができるよう、観光地として総合的に整備されたい。
十林寺	・県道矢沢・真田線の拡幅改良：石舟浄水場から国道144号に向う狭隘区間の拡幅改良を要望します。本路線は通学路でもあります。当該区間は前後に比べて著しく幅員が狭く、歩行者が危険な状況であります。児童の安全な通学のため早期の事業化を希望します。
石舟	・神川の河床が低くなってきており、災害の心配があるので左岸の護岸整備を引き続き県に要望してほしい。
戸沢	・集落内を、スピードを出して走行する車があり、大変危険な状況となっています。（特に長生橋付近や山崎忠一宅前）昨年、建設課からは凹凸等の道路整備での対応は困難との回答をもらっていますが、住民の日常生活や横尾・つくし・戸沢区の児童の通学路となっていることを考慮して、走行車にスピードを出させない対策（30キロ制限標識等の設置など）について、検討いただきたい。また、他で効果のあった事例を紹介してほしい。
戸沢	・幸村橋から黒門方面に向かう道路に街路灯がない部分があり、中学生の帰宅時に危険ですので、設置をしていただきたい。
横尾	・県道長野真田線のレストランわか前付近は、雨水が溜まって走行車両に大量にはねあがる。前方が見えなくなるなど大変危険なため舗装改良及び、傍陽地区方面へ向かって左側の土砂除去等により、側溝を付けてもらいたい
入軽井沢	・傍陽川の護岸4箇所が崩壊寸前であるため、早急に工事していただくよう、引き続き強く県に要望してほしい。
入軽井沢	・傍陽川の河床がかなり掘れている（特に軽井沢橋から桑明橋の間）ため、早急に河床整備を実施していただくよう、引き続き強く県に要望してほしい。
入軽井沢	・このいり川の河床と護岸に未整備箇所があり、危険と思われるので早急に河川整備をしていただくよう、引き続き強く県に要望してほしい。
入軽井沢	・新田橋での事故が多いため、早急に道路改良等検討してほしい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
入軽井沢	・樋の口沢上流、このいり川上流に砂防堰堤を設置してほしい。
入軽井沢	・洪水ハザードマップでは、広域避難所しか掲載されていないので、緊急時・災害時用として、各自治会における避難所マップも作成してほしい。
入軽井沢	・バス通学の児童が路線バスにて登校すると、到着が早すぎ小学校が開校されていないため、校舎内に入れない状況であることから、スクールバス運行を検討してほしい。
岡保	・継続して要望しますが、岡保地籍内の傍陽川の護岸未整備箇所の早期整備を要望します。特に 岡保公民館前の堤防ジャ篋の下がえられている箇所、3年程前に応急処置していただいた区民広場前の河床整備、 公民館前100m下流の堤防について、災害が発生する前に早急に対処をお願いしたい。
傍陽中組	・国道144号線伊勢山地籍の歩道の改良をお願いします。
傍陽中組	・傍陽川（中組・岡保間）の堤防を利用した遊歩道やサイクリングロードの整備をお願いします。
傍陽中組	・傍陽川で護岸の根入部分が洗掘されている箇所がありますので整備をお願いします。
傍陽中組	・傍陽川、石堂沢及び猛沢の河床保護のため堰堤等の整備をお願いします。
傍陽中組	・公共交通（バス）の本数を減らさないようにお願いします。
大庭	平成18年7月の豪雨災害時の土砂が傍陽側に堆積しており、近い将来の災害が心配されます。 河川の構造上、土砂が堆積しやすくなっているため、広い範囲で土砂を取り除いていただきたい。（以前に除去していただいたことがあるが、全部ではなかった。） 堤防道路に沿って、コンクリートの壁を築き、あふれた水が水田を流さないようにすることを検討していただきたい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
大庭	・大庭地区には3つの橋があります。老朽化が心配されるものもありますので、災害防止のために調査、点検をお願いします。
大庭	・荒廃していく森林の対策をお願いします。（近くの里山が荒廃しても、皆手入れに行かない状態にある。何らかの対策は考えられないか。）
曲尾	・県道の除雪については、数年前から県道の除雪の対応（時間、質）が落ちている、従前どおりの対応をお願いしたい。
曲尾	・投票所変更に伴う高齢者の安全対策：投票所の見直しにより、高齢の有権者が徒歩で投票所へ行く場合、比較的交通量の多い県道を2箇所横断しなければならず、危険が伴うため横断歩道などの安全対策をお願いしたい。
曲尾	・災害時における一人暮らし老人への対応について、災害時に消防団で一人暮らし老人、障がいを持つ方への対応をしたいが、情報が無く対応が出来ない。これに対する情報等を提供をお願いしたい。
曲尾	・火災の放送について、合併前は火災の放送は個人名を流していたが、現在は目標物からの方角、距離しか放送されず不明瞭である。従来どおり個人名でお願いしたい。
萩	・岩下橋東側の難山（ブルーベリー畑）沿いにある沢が、大雨の度に土砂が流出し、曲尾堰に流れ込んで堆積し、付近の住宅や農地に被害を及ぼしているため、沢の改修をしてほしい。
田中	・県道交差点について、見通しが悪く萩方面から交差点までの間は直線で車両の高速走行が見受けられる。、県道を横断する地元の人や車が危険なため、スピードを抑制するマーキングやカーブミラー位置の変更を含め、交通安全施設の設置を含め交通安全について検討をお願いしたい。
田中	・一級河川洗馬川の川床整理をお願いします。
下横道	・洗馬川の右岸側上流の護岸が低く、集中豪雨の際は決壊の恐れがあるので、パラペット等で嵩上げをお願いしたい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
中横道	・ 萩集落内の道路が特に除雪時に狭く、事故も起きている。バイパス建設及び歩道の拡幅を検討していただきたい。
中横道	・ 現在の横道から田中へ抜ける通学路については人通りも車の通行もなく、人目につかないことが多い。子どもへの見守りを行うということから、県道傍陽菅平線の田中から横道までの区間に通学路となる歩道を設置していただきたい。県への要望が通らない場合は市としての対応をお願いしたい。
中横道	・ 地域住民の高齢化による買物や通院の交通手段のとして、真田地域内路線バス増発を早期実現していただきたい。
中横道	・ バス通学するのに、荒井バス停付近に自転車やバイクを置く屋根付駐輪場の設置を早期実現していただきたい。
中横道	・ 高齢者やバス通学する学生に対して、運賃の補助をしてほしい。
上横道	・ 平成18年に集中豪雨による山側からの湧水により、住宅地区内で床下浸水等の水害が発生したが、未だ良い対策が採られておらず不安な生活をしいられているのが実情である。住宅地区内でもあり、安心して生活を送られる用対策をお願いしたい。
上横道	・ 県道傍陽菅平線の萩自治会内の道路が狭く、降雪等があると除雪することが出来ないため、さらに狭くなる。バイパスの開設を望みます。
三島平	・ 市道横道大倉線の大倉地籍市道三島大倉線との合流地点近く（水田下）の半田入谷川において河床が下がり、河川がブロック積護岸30cm奥まで洗堀しているため補修してほしい。
上原	・ 県道矢沢真田線の拡幅をお願いしたい。この道は通学路であり、道路の拡幅がすぐにできないなら、歩道だけでも、できる箇所から、拡幅して欲しい。また、縁石と同じ高さの歩道とすることで、多少でも歩道の幅が広がるので、そのような改修もして欲しい。この歩道は、子供2人が並んで歩けず、縁石の外を歩く横を車が通行して、危険であるので、お願いしたい。県への要望で、困難なのはわかるが、引き続きお願いしたい。
下郷沢	・ 昨年度も要望しましたが、下郷沢区民広場上の山が土砂崩落を起こしており、危険な状態となっている。災害が発生する前に土留め等対策を講じて欲しい。

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
小玉上郷沢	<p>・ 出早団地の県道矢沢真田線と市道川久保御屋敷線交差点は、最近も衝突事故があった。3灯式信号機の設置が困難であれば、赤色の点滅式信号機の設置をぜひお願いしたい。特に上田（下原）方面から小玉上郷沢に向かって、交差点手前の道路縦断勾配が急となっているため交差点の手前に注意看板は設置されているが、交差点の存在が分からない車があり、スピードを落とさないで交差点に入ってしまう事故となる。地元の者で交差点の存在は承知している車はよいが、他から来た車が事故を起こす原因と考えられる。交通量の問題よりも今後も予想される事故が心配である。</p>
赤井	<p>・ 大沢川については、市でも下流から整備計画を検討されているとのことですが、当自治会内の赤井公民館前の横断暗渠部分だけでも是非早期の改修検討をお願いします。（屈曲部かつ、住宅が隣接にあるため閉塞時に災害の危険性があるため。）</p>
赤井	<p>・ イノシシ、カモシカさらに当自治会ではハクビシンの農作物被害が近年急増しております。市当局及び猟友会の皆様は努力されていると思われませんが、更なる有害鳥獣の駆除推進をお願いします。また、先のハクビシンの防衛策等を市広報あるいはセンター便り他の媒体を通じて、広報・周知頂きたく検討をお願いします。</p>
赤井	<p>・ 当自治会は後背地に深く山林を抱えているためか、近年ゴミの不法投棄が増加傾向にあると思われれます。当自治会でも役員等が出て不法投棄の回収等も行いましたが限界があります。不法投棄にかかるパトロールの強化、あるいは啓蒙用の看板設置など、ゴミ不法投棄の撲滅に向けて市当局の更なる施策の実施を要望します。</p>
中原	<p>・ 県道矢沢真田線 特に宮下麻美宅前から本原小学校までの歩道について、児童数の増加、通学路という事情も鑑み、歩道下暗渠の改修を含め、拡幅改良を最優先にて要望します。現地は歩道の幅員が狭く段差があり、特に冬期間は車道の雪が歩道へかき寄せられ歩道と車道の区別がつかなくなり大変危険です。県への要望は毎年継続して頂いているとは思いますが、県の回答・実施の可否・方向性など県の考え（見通し）を具体的に教えてください。</p>
中原	<p>・ 大沢川は豪雨時には増水し、区内の未改修箇所、また、改修されている箇所においても畑、道路等に氾濫しています。氾濫があった箇所、恐れのある箇所については、今後とも迅速な対応をして頂きますようお願いいたします。H20年度には竹室自治会の一部で改修が実施されるとのことですが、全体的な改修計画について、具体的にどのような方法・方向性で改修を進めるのか教えて頂きたい。中原自治会としては、以前から要望し住民の希望でもあります「環境との調和」に配慮した形（コンクリート製品ではなく、自然石を多用した形）で、ホタルなど水生生物が戻ってくるような親しみの沸く河川改修を強く要望します。</p>
中原	<p>・ 国道144号線の下原・本原医院前交差点 2箇所では、上田市街地方面から右折する車が曲がれず渋滞をおこしているため、右折レーンの設置を要望します。県への要望は毎年継続して頂いているとは思いますが、県の回答・実施の可否・方向性など県の考え（見通し）を具体的に教えてください。</p>
中原	<p>・ 県道矢沢真田線の本原小学校体育館前交差点について、町原方面から見て右側に横断歩道の設置を要望します。県道への歩道設置が出来ない場合は、市道への横断歩道設置（左 右）を要望します。平成19年度回答によりますと市道へ横断歩道設置で検討されているとのことですので、早期に計画され実施していただきますようお願いいたします。</p>

平成20年度 地域づくり要望事項

区 名	要望事項
中原	・ JA信州うえだ農協 旧本原支所付近の施設有効利用については、現在、JA旧本原支所の一連の施設（本原小学校前）がAコープを除いて遊休施設となっている。市で借り受けるなどして有効利用できないものか。市とJA信州うえだで連携し利活用を検討していただきますよう要望します。
表木	・ 真田地域内に若い人が働ける場所（会社等）を増やしてほしい。
表木	・ 犬や猫のふんが家の周囲や道路・田畑の横にあることが多いので、ふんを処理するようもっとよびかけてほしい。
大畑	・ 国道144号線の伊勢山地区から神科小学校までについて、車両で自転車通学をしている高校生を追い抜き、またはすれ違いの時に接触しそうなことがあり、非常に危険です。 樋の沢地区にバイパスが設置された場合は、対策がとられると思われませんが、それまでの間の対策をお願いします。
大畑	・ 国道144号線本原医院前交差点は上田方面からの右折車両が多く、右折レーンの設置については以前より要望しており、各団体関係者等により現場立会いも何度となく行われてきましたが、現在はどうのような状況でしょうか。
大畑	・ 大畑自治会は本原地区の下流にあるため雨水の排水が集中します。大雨時は水が路面や水路から溢れ出ることが多く、緊急時に対応する必要があります。そのため土のう袋と砂を備蓄しておく必要があるので支給していただくようお願いいたします。
下原	・ 国道144号線から市道「川久保お屋敷線」への右折、また同国道から羽毛田団地方向への右折の際、交通量の多さ等の理由から時間帯によっては交通渋滞が発生したり、最悪の場合には事故も起きている。このため、この2箇所にも右折レーンを設けてほしい。なお、特に前者は以前からの懸案事項である。
町原	・ 吉田堰のフェンスを子どもが覗き込んで危険なので、もう少し高いものにされたい。
町原	・ 真田地域にもオレンジバスを走らせてほしい。
出早	・ 空き区画の積極的な販売をお願いしたい。